



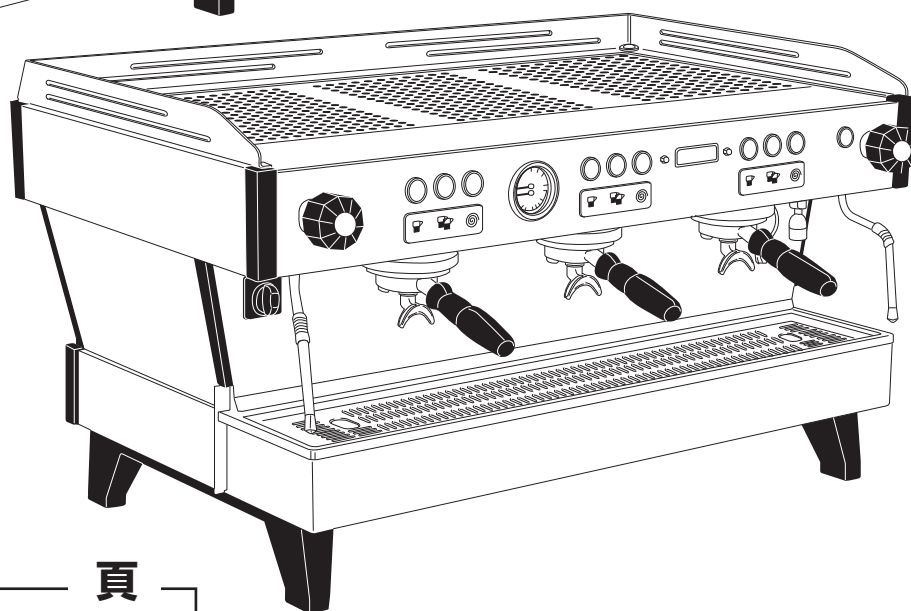
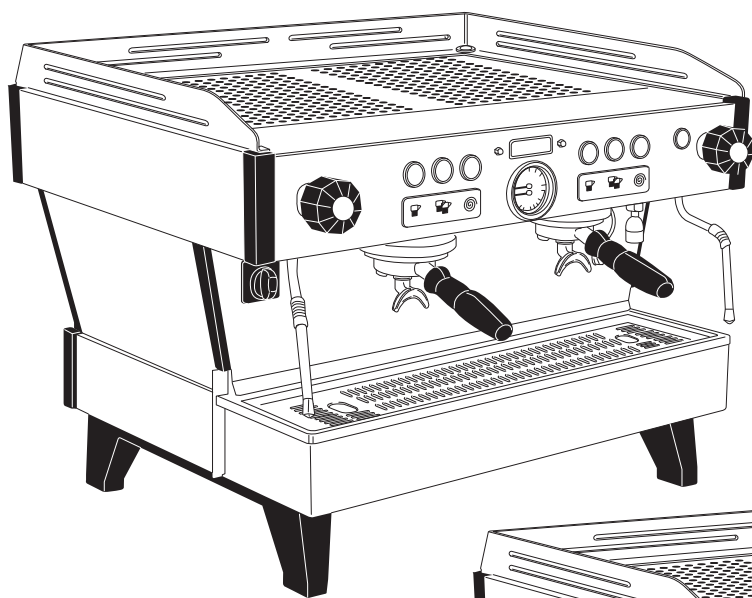
la marzocco

handmade in florence

エスプレッソコーヒーマシン

LINEA PB-2, 3

取扱い説明書



目 次 頁

● 安全上の注意事項	1~2
● 設置	3
● 各部の名称・仕様	4
● 操作方法	5~7
始業時手順	5
エスプレッソコーヒーの抽出のしかた	5
コーヒー抽出量の設定	6
熱湯の取り出し方	6
熱湯抽出量の設定	7
蒸気の取り出し方	7
● プログラム	8~13
● 清掃	14
抽出装置の清掃（毎日の清掃）	14
終業時手順	14
● 製品保証書、無料修理規定	

このたびは LA・MARZOCCO エスプレッソコーヒーマシンをお求めいただき、まことにありがとうございます。

ご使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、十分にご理解いただいたうえで正しく操作してください。

この説明書は、必要な時にいつでもお読みいただけるようわかり易い場所に大切に保管してください。

安全上の注意事項

ご使用になる前に この安全上の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。
表示内容は次の通りです。



警告

守られないと、重大な人身事故や死亡事故につながる可能性のある事柄。



注意

守られないと、人に傷害を与えたり物損事故につながる可能性のある事柄。

これらの警告・注意事項をよくお読みいただき、必ず守ってください。



警告

据付工事は、お買い上げ店または専門業者に依頼してください。

アース線は、必ず専用のアース端子に接続してください。

装置を電源に繋ぐ際には、分岐コンセントの使用やタコ足配線はしないでください。

本体に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行い、電源の容量が不足したり設備工事に不備がないようにしてください

電源プラグはほこりが付着していないか定期的に確認し、根元まで確実に差し込んでください。

コード内部が断線したまま使用を続けると、火災の危険性があります。

電源は、漏電ブレーカーを施した専用のコンセントに接続してください。

機械に水をかけないでください。漏電する恐れがあります。

水のかかりやすい場所や、湿気の多い場所には設置しないでください。

濡れた手で機械・コード・プラグに触れないでください。

マシンから水漏れ、蒸気漏れを確認した場合、マシンの電源をぬいて販売店へ連絡ください。

すすぎ中は抽出口やノズルに手を近づけないでください。

顔や手、または他人にスチームノズルを向けないでください。

火傷を負った場合、ただちに患部を冷やし、状態に応じて医師に相談してください。

熱い飲み物でやけどをする恐れがあります。

適切なドリンクの容器のみ使用してください。容器の破損及び、火傷の恐れがあります。

吸・排気口などの隙間にもものを入れたり、手を近づけないでください。

小さなお子様や、不慣れな方が機械に触れない様ご注意ください。

機械に異常を感じたら、ただちに運転を中止し、販売店へ連絡のうえ、その指示に従ってください。

機械の分解・改造は絶対にしないでください。

修理作業は、専門の修理技術者以外は行わないでください。

廃却は専門業者か、お買い上げの店に依頼してください。

安全上の注意事項

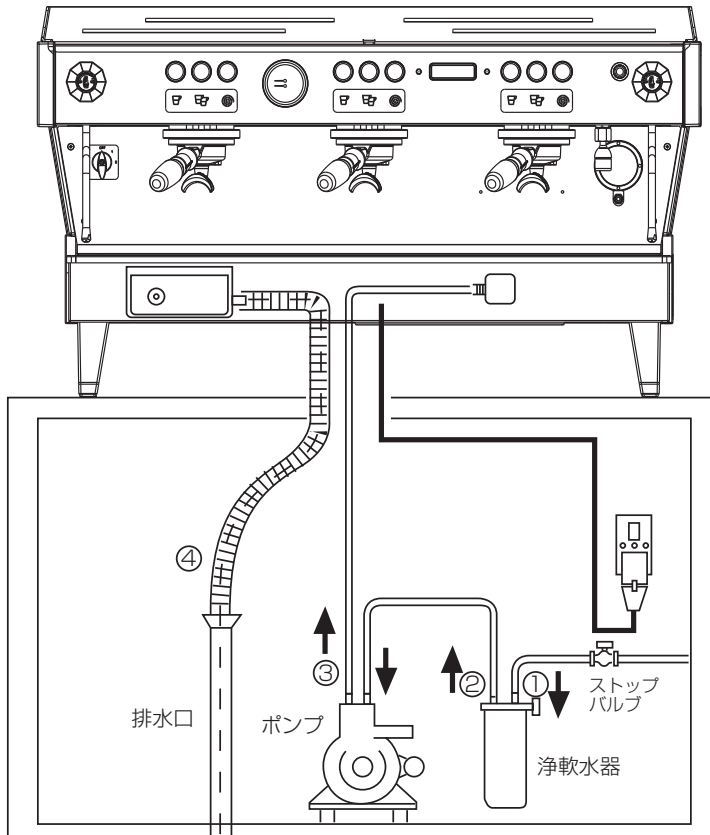
これらの警告・注意事項をよくお読みいただき、必ず守ってください。

 注意
この機械は、本来の目的以外に使用しないでください。
振動の多い場所や、不安定な場所には設置しないでください。
電源は設置場所から 1.5m 以内に準備してください。
屋外やこれに準ずる場所には設置しないでください。
高熱を発生する機器の周辺や、直射日光のあたる場所、あるいは凍結の恐れのある場所では使用しないでください。
可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないでください。
機器の周辺は、およそ 10cm 以上の空間をあけて設置してください。
設置場所の周囲は、水やコーヒーがこぼれてもよい場所を選んでください。
メーカー推奨の電源電圧でご使用ください。
メーカー推奨の水道水圧内でご使用ください。
給水に使用する水は、必ず浄水した水道水を使用してください。
ご使用の浄水器の使用期限を確認し、定期的に浄水フィルターを交換してください。
本機の上に物を置かないでください。
製品にもたれたり、乗ったりしないでください。
スチームノズルは、装着してある断熱ゴム以外の金属部分に直接手を触れないでください。
運転中、ホッパー内や可動部に手を入れないでください。
清掃・点検時は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから行ってください。
洗浄が不十分な場合、異物混入やマシントラブルの恐れがあります。
マシンを使用する際は、必ずマニュアルに従ってマシンを洗浄してください。”
排出口や排水管に詰まりがないか始業時に点検を行ってください。
漏電遮断器は月に 1 回、動作確認してください。
クリーニング時には、必ず専用の薬剤をご使用ください。
使用する洗浄剤のラベルに記載された危険に関する警告を確認してください。
洗浄剤をドリンクに混入させないでください。
営業終了後など長時間作業者がいない場合は、電源プラグを抜いて水道の元栓を閉めてください。
断水の時はメインスイッチを「OFF(切)」にし、水道栓を閉めてください。
断水が発生した場合や長期間マシン(7 日間以上)使用しない状態が続いた場合、残留物が蓄積することがあります。デイリークリーニングを実施後に使用してください。
設置後に機器の移動は避けて下さい。漏水の原因となります。

設置

下記のパーツが入っているかチェックしてください。() 内の数字は、3連用のパーツです。

- ・ 2人用フィルターホルダー2 (3) ・ タンパー1 (1) ・ 排水用ホース [1.5m]1 (1)
- ・ ブラインドフィルター1 (1) ・ エスプレッソ洗浄剤 [560g]1 (1) ・ ホース留め金1 (1)
- ・ 給水用メッシュチューブ1 (1) ・ 洗浄ブラシ1 (1)



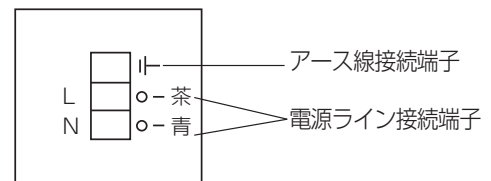
※ポンプ及び浄軟水器の設置スペースをご用意ください。

配管例

- ① 接続の前に、ストップバルブより水を十分に流出し、水道管内の異物を取り除きます。
- ② 浄軟水器OUT側の接続前にも浄軟水器に十分に水を通してカートリッジ内の微粉などを取り除きます。
- ③ 増圧ポンプのIN・OUTを確認してから本体までの配管接続を行ってください。
- ④ 排水ホースは、できるだけ最短距離を選び、トラップが発生しないようにご注意ください。



増圧ポンプの電源端子

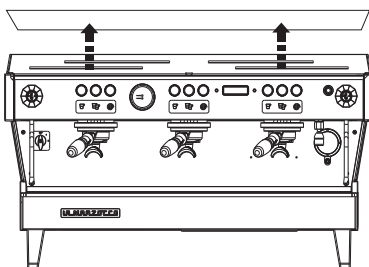


※設置時と浄軟水器の交換時に必ず行ってください。

コーヒーボイラーの空気抜き

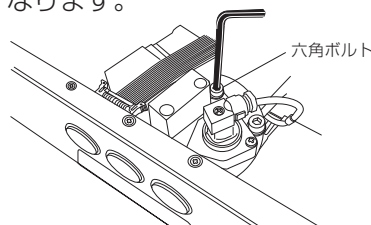
エスプレッソマシンの設置が完了し、ストップバルブを開くと、コーヒーボイラーに水が流入します。流入水がコーヒーボイラー内の空気を圧迫しますので、空気を逃がすために空気抜きが必要になります。

1 天板(カバープレート)を外してください。

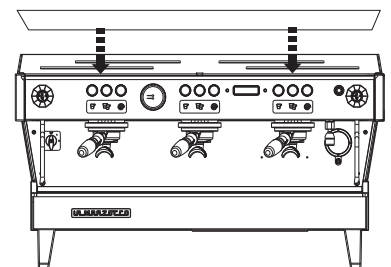


2 抽出装置の小さな六角ボルトをゆるめます。

抽出装置から水が2~3滴出てきましたら空気が抜けた事になります。



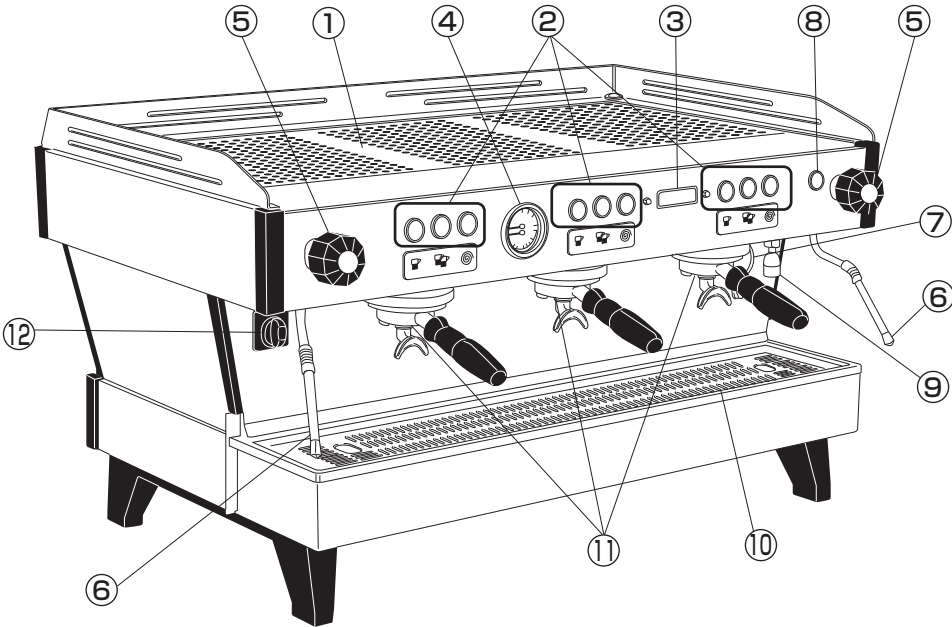
3 六角ボルトを再度締め付けて、天板(カバープレート)を取付けてください。



※必ず、上記操作をそれぞれの抽出装置で行ってください。

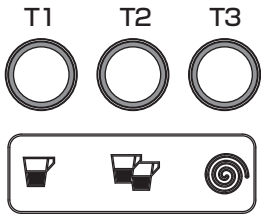
各部の名称・仕様

LINEA PB-3

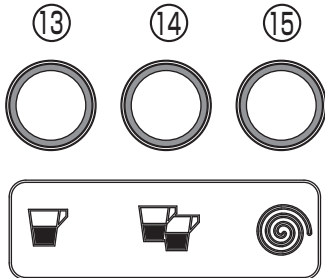


- ① 天板（カバープレート）
- ② 抽出ボタン
- ③ ディスプレイパネル
- ④ スチーム圧力/抽出圧力計
- ⑤ スチームノブ
- ⑥ スチームワンド（ノズル）
- ⑦ スチームボイラー水位計
- ⑧ 熱湯ボタン
- ⑨ 熱湯ノズル
- ⑩ ドリフトレー
- ⑪ エスプレッソ抽出装置
- ⑫ 電源スイッチ

※プログラム時には最左端の抽出装置の抽出ボタンが
T1：戻るボタン（☐）
T2：進むボタン（☐）
T3：決定ボタン（●）
となります。



抽出ボタン



- ⑬ エスプレッソボタン 1杯用
- ⑭ エスプレッソボタン 2杯用
- ⑮ エスプレッソボタン 手動用

仕様

	LA・MARZOCCO エスプレッソコーヒーマシン	
モデル	LINEA PB-2	LINEA PB-3
外形寸法(mm)	幅 710 / 奥行 590 / 高さ 533	幅 950 / 奥行 590 / 高さ 533
重量(乾燥重量)	61kg	77kg
電源：消費電力	単相200V：50/60Hz 3600W	単相200V：50/60Hz 4800W
ボイラー容量	コーヒー：3.4 ℓ、スチーム：7.0 ℓ	コーヒー：5.0 ℓ、スチーム：11.0 ℓ
エスプレッソ抽出能力	400杯/h	600杯/h
熱湯抽出能力	16 ℓ/h	19 ℓ/h
初動沸き上がり時間	約20分	約35分

注意：上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

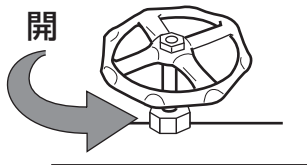
操作方法

始業時手順

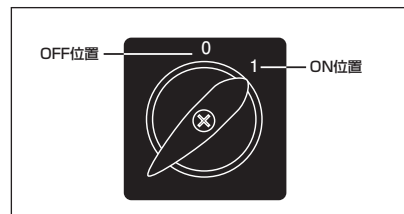
- 1 水道の元栓を開いてください。
- 2 電源スイッチを1 (ON位置) に回してください。

(ディスプレイパネルの表示がOFF表示の場合は、いずれかのボタンを押してください。)

ボイラータンク内の水量が減っている場合は、自動的に給水が始まります。
適量範囲まで給水されれば、自動的に給水は停止します。
その後、ヒーターに通電されてボイラータンク内の水を沸かし始めます。



- 3 抽出ボタンと熱湯ボタンのランプが赤く点灯すれば適温となり抽出可能です。
表示が適正圧力まで上がるのに、機種により20分～35分程度かかります。



エスプレッソコーヒーの抽出のしかた

- 1 フィルターホルダーが冷たい時は、抽出したコーヒーがぬるくなりますので、
コーヒー抽出ボタンを押して熱湯だけを出し、フィルターホルダーをあらかじめ温めてください。
(フィルターはフィルターホルダーにセットしておいてください。)

- 2 フィルターホルダーを、抽出装置より外してください。

- 3 フィルターホルダーのフィルター内に、適量のコーヒー粉を入れてください。

- 4 タンパーでコーヒー粉を軽く押さえて平らにしてください。
フィルターのフチについた粉は手の平で拭き落としてください。

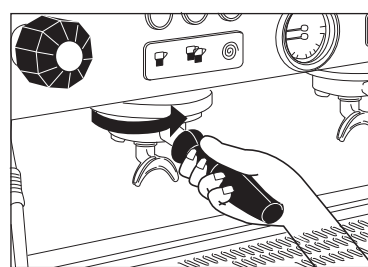
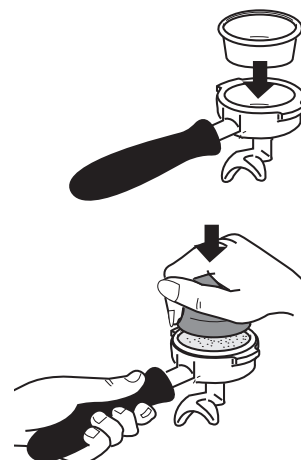
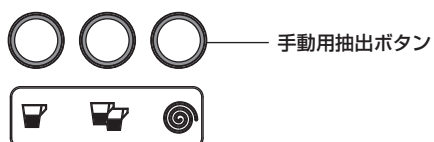
- 5 フィルターホルダーを左約40°位の方向より抽出装置に入れ、
正しく納まれば、右方向へ止まるまで回してください。

- 6 抽出口の下にカップを置き、抽出ボタンのランプが点灯している事を
確認し、好みの抽出ボタンを押してください。

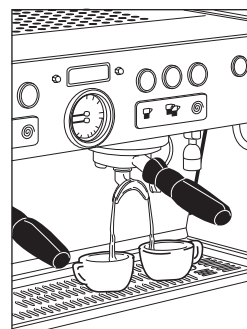
- 7 設定された量のコーヒーが抽出されると、自動的に抽出が停止します。
(コーヒー抽出量の変更は、P6「コーヒー抽出量の設定」を参照して行ってください。)

- 8 抽出後のフィルターホルダー内のコーヒーカスは、すぐに捨てずに
次の使用時までそのままにしておいてください。

●手動用抽出ボタンは、手動でエスプレッソコーヒーを
抽出する時に使用してください。



■エスプレッソコーヒーカップの置き方

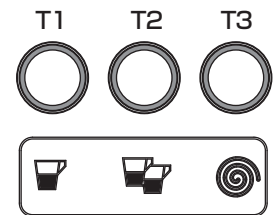


※左右のコーヒーカップの抽出量に
バラつきがある場合は、本体が
水平に置かれているかご確認
ください。

コーヒー抽出量の設定

- 1 コーヒー粉を入れたフィルターホルダーをエスプレッソ抽出装置にセットしコーヒーカップを置いてください。
- 2 抽出ボタンのLEDランプが赤く点灯している状態で、最左端の抽出装置のT3ボタン (⊙) を5秒間長押ししてください。
ディスプレイパネルが"Menu Press B3 to Exit"表示になっているのを確認してボタンを離します。
- 3 最左端の抽出装置のT2ボタン (☒) を押してください。
ディスプレイパネルが"Group Dose Settings"表示になります。
- 4 もう一度、最左端の抽出装置のT3ボタン (⊙) を押してください。
ディスプレイパネルが"Program Volume Dose"表示になります。
- 5 もう一度、最左端の抽出装置のT3ボタン (⊙) を押してください。
ディスプレイパネルが"Press Enter to Exit"表示になります。
- 6 抽出量を設定したい抽出ボタンを押すと抽出ボタンが赤く点滅し、抽出が始まります。
お好みの量まで抽出されたら、再度抽出ボタンを押してください。
抽出が止まり、抽出された量が設定されます。
抽出量が設定されると、抽出ボタンは赤く点灯します。
設定可能は1グループ4種類(T1,T2,T1長押し,T2長押し)になります。
- 7 他に設定したい抽出ボタンがある場合は、6を繰り返します。
また、設定した抽出ボタンを再度設定する場合も6を繰り返します。
- 8 設定が完了しましたら、最左端の抽出装置のT3ボタン (⊙) を押してください。
ディスプレイパネルが"Program Volume Dose"表示になります。
- 9 最左端の抽出装置のT1ボタン (☒) を押してください。
ディスプレイパネルが"Group Dose Exit"表示になります。
- 10 最左端の抽出装置のT3ボタン (⊙) を押してください。
ディスプレイパネルが"Group Dose Settings"表示になります。
- 11 最左端の抽出装置のT1ボタン (☒) を押してください。
ディスプレイパネルが"Exit Menu"Menu Press B3 to Exit"表示になります。
- 12 最左端の抽出装置のT3ボタン (⊙) を押してください。通常の電源ON状態に戻ります。

※設定時には最左端の抽出装置の抽出ボタンが
T1：戻るボタン (☒)
T2：進むボタン (☒)
T3：決定ボタン (⊙)
となります。



設定確認

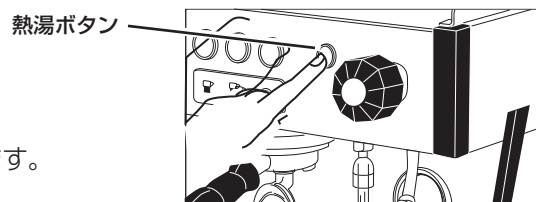
- 5' Program Volume Doseの表示からT2ボタン (☒) を押してください。
ディスプレイパネルが"G1 Dose settings"表示になります。
- 6' 最左端の抽出装置のT3ボタン (⊙) を押し、T2ボタン (☒) を押していくとパルス数値が確認出来ます。
パルス数値はマシン上で読み取る数値になります。戻る場合は"Exit Group #"でT3を押してください。

設定コピー

- 6" G# Dose settingsの表示からT2ボタン (☒) を押してください。
ディスプレイパネルが"Copy Dose"表示になります。
- 7" 最左端の抽出装置のT3ボタン (⊙) を押し、Push Button to Copy表示でコピーしたいボタンを押し、Push to Paste Enter to Exit表示でペーストしたいボタンを押してください。
戻る場合はT1を押し"Group Dose Exit"でT3を押してください。

熱湯の取り出し方

- 1 熱湯ノズルの下に容器を置いてください。
- 2 熱湯ボタンを押してください
設定されている量の熱湯が給湯され、自動的に停止します。



操作方法

熱湯抽出量の設定

- 1 熱湯ボタンのLEDランプが赤く点灯している状態でT3ボタン (⊙) を5秒間長押ししてください。
ディスプレイパネルが"Menu Press B3 to Exit"表示になっているのを確認してボタンを離します。
- 2 最左端の抽出装置のT2ボタン (☒) を押してください。
ディスプレイパネルが"Group Dose Settings"表示になります。
- 3 もう一度、T2ボタン (☒) を押してください。
ディスプレイパネルが"Water Dose Exit"表示になります。
- 4 T3ボタン (⊙) を押してください。
ディスプレイパネルが"Water Dose ENABLED"表示になります。
- 5 T2ボタン (☒) を押してください。
ディスプレイパネルが"Program Water Dose"表示になります。
- 6 T3ボタン (⊙) を押してください。
ディスプレイパネルが"Press Water Button To Program"表示になります。
- 7 熱湯ボタンを押すと熱湯の抽出がはじまります。お好みの量まで抽出されたら、再度熱湯ボタンを押してください。
抽出が止まり抽出された量が設定されます。
設定が完了するとディスプレイパネルの表示が"Program Water Dose"になります。
設定は2種類 (通常Program Water Dose、長押し"Program Long Water Doses") 設定できます。
- 8 T1ボタン (☒) を2回押してください。
ディスプレイパネルが"Water Dose Exit"表示になります。
- 8' T1ボタン (☒) を3回押してください。
"Water Dose Exit"表示になります。
- 9 T3ボタン (⊙) を押してください。
ディスプレイパネルが"Water Dose Settings"表示になります。
- 10 T1ボタン (☒) を2回押してください。
ディスプレイパネルが"Menu Press B3 to Exit"表示になります。
- 11 T3ボタン (⊙) を押してください。通常の電源ON状態に戻ります。

長押し設定

- 5' T2ボタン (☒) を2回押してください。
"Program Long Water Doses"表示になります。

- 8' T1ボタン (☒) を3回押してください。
"Water Dose Exit"表示になります。

設定確認・変更

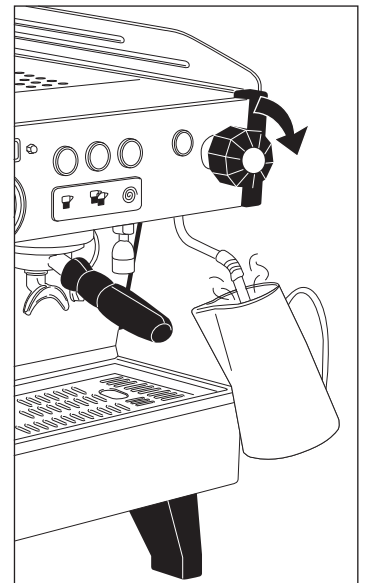
- 5" T2ボタン (☒) を3回押してください。
ディスプレイパネルが"Water Dose #.#s"表示になります。
- 6" 最左端の抽出装置のT3ボタン (⊙) を押し、設定秒数の変更が出来ます。
T1で減少、T2で増加、T3で決定。
戻る場合は"Water Dose Exit"でT3を押してください。

長押し設定確認・変更

- 5" T2ボタン (☒) を4回押してください。
"Long Water Dose #.#s"表示になります。

蒸気の取り出し方

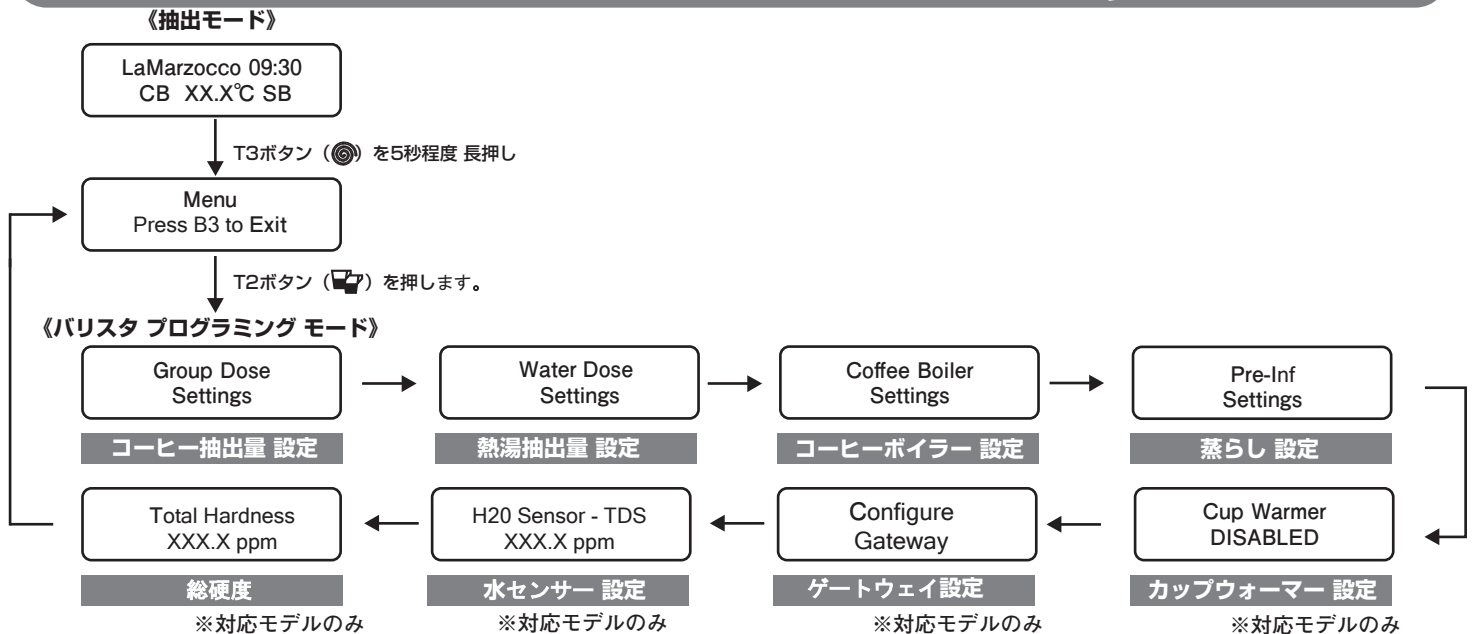
- 1 スチームノズルを、あらかじめドリフトトレイに向けておいてください。
- 2 スチームノブを回して開き、水抜きをしてください。
この時、熱湯が勢い良く飛び出しますのでご注意ください。
- 3 蒸気が出るようになれば、いったんスチームノブを戻して閉じ、スチームノズルを飲料の入った容器に入れてください。
- 4 再度、スチームノブをゆっくりと回して開いてください。
使用後は、スチームノブを戻して閉じ、容器をノズルからはずしてください。
- 5 スチームノズルに付着した液を、水でしぼった清潔な布で拭き取ってください。
- 6 その後もう一度スチームノブを回して開き、数回蒸気を出す動作を行ってください。
そのまましておきますと、ノズル内に付着した液(ミルクなど)が固まり、不衛生ですし、ノズル内が詰まり、故障の原因になることがあります。
- 7



プログラム

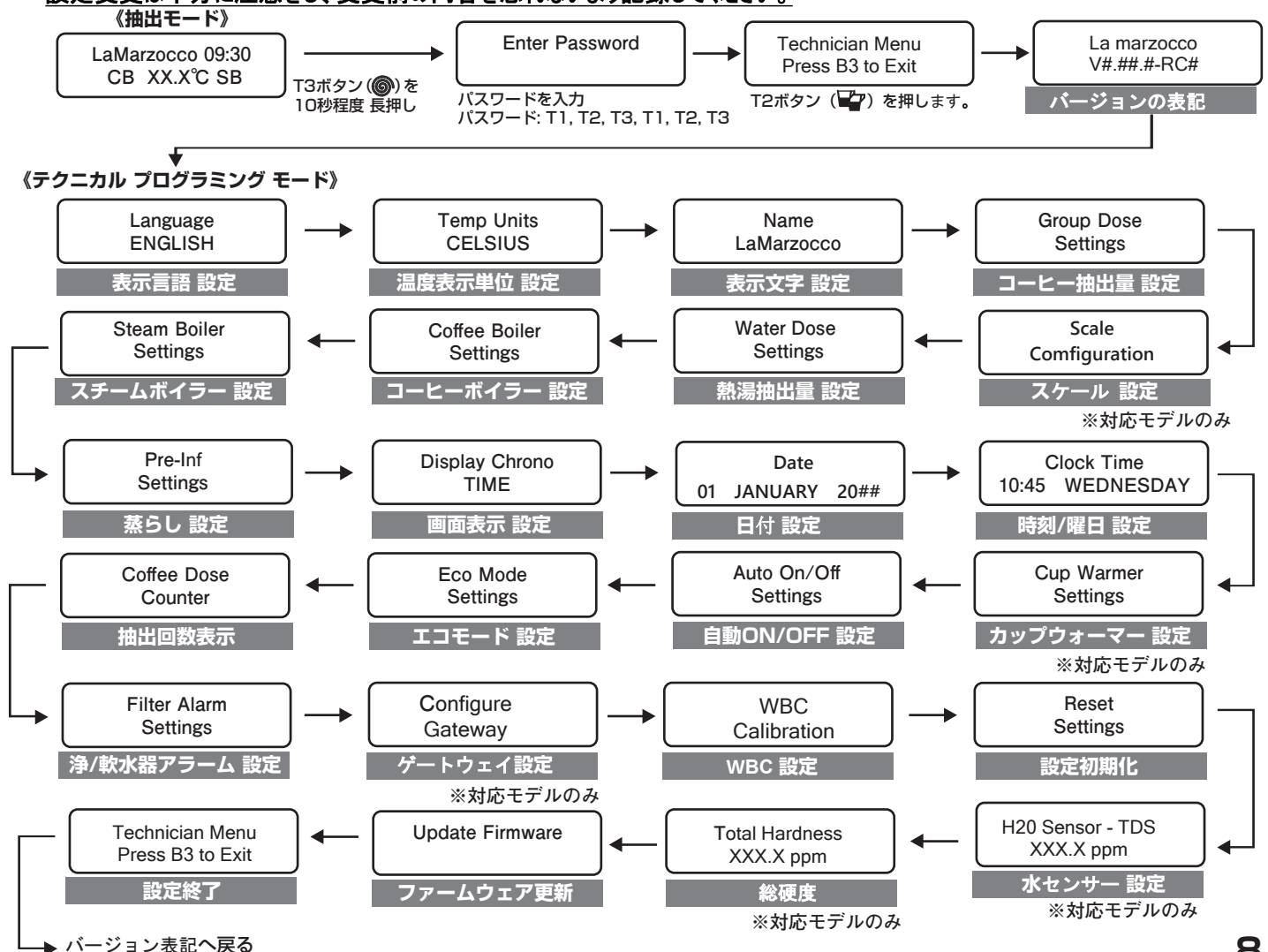
各項目の設定を行うには、設定したい項目がディスプレイに表示されている時にT3ボタンを押します。
<バリスタ プログラミング モード>から<抽出モード>に戻るには、T2ボタンとT3ボタンを同時に押します。
もしくは、"Exit Menu" でT3ボタンを押しても<抽出モード>に戻れます。

バリスタ・プログラマー一覧



テクニカル・プログラマー一覧

設定変更をすると、マシンの仕様が変わり異常が出る場合がございます。
設定変更は十分に注意をし、変更前の内容を忘れないよう記録してください。



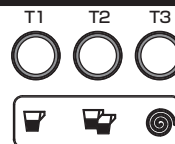
プログラム (バリスタ・プログラム)

バリスタ・プログラムでは以下の設定ができます。

最左端の抽出装置の抽出ボタンがプログラムボタンになります。

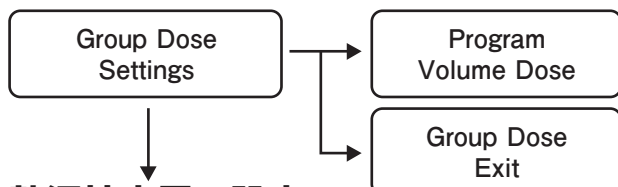
各メニューでは T1(戻る)ボタン、T2(進む)ボタン、T3(決定)ボタン で操作します。

T2ボタン、T3ボタンを同時に押すと、いつでもプログラムを終了できます。

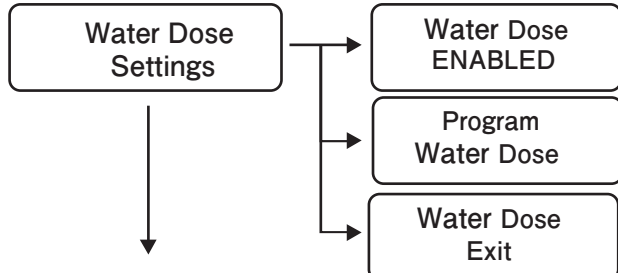


バリスタ・プログラム

コーヒー抽出量の設定

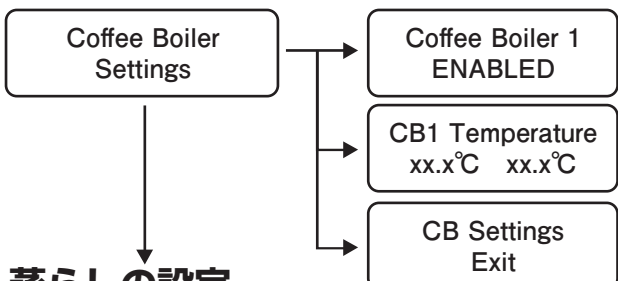


熱湯抽出量の設定

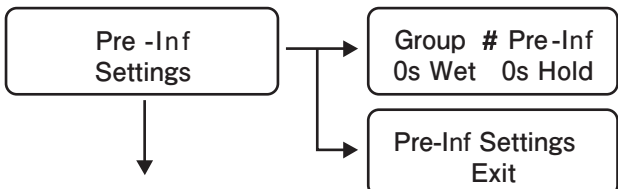


コーヒーボイラーの設定

※通常はENABLEDから変更しないでください。

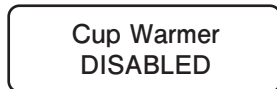


蒸らしの設定



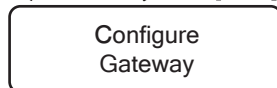
カップウォーマーの設定

※カップウォーマー付きモデルのみ、使用できます。



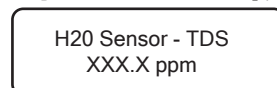
ゲートウェイの設定

※ゲートウェイ付きモデルのみ、使用できます。



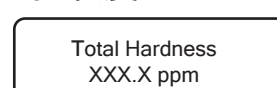
水センサーの設定

※水センサー付きモデルのみ、使用できます。



総硬度

※水センサー付きモデルのみ、使用できます。



各抽出ボタンのコーヒー抽出量を設定できます。

「コーヒー抽出量の設定」を参照ください。(→6ページ)

コーヒー抽出量の設定を終了します。

熱湯ボタンの抽出量設定を有効/無効にできます。

ENABLED : 有効...設定した量で自動的に止まります。

DISABLED : 無効...熱湯を止めるには再度 熱湯ボタンを押します。

熱湯ボタンの抽出量を設定できます。

熱湯ボタンを押して湯を出し、設定したい量で再度 熱湯ボタンを押して止めます。このとき抽出された量が設定されます。

「熱湯抽出量の設定」も参照ください。(→7ページ)

※ Water Dose が DISABLED のときは、このメニューは表示されません。

熱湯抽出量の設定を終了します。

コーヒーボイラーの機能を有効/無効にできます。

ENABLED : 有効...コーヒーボイラーの機能を有効にします。

DISABLED : 無効...コーヒーボイラーの機能を無効にします。

コーヒーボイラーの制御温度を設定できます。

左の表示：現在のコーヒーボイラー内湯温を表示

右の表示：設定温度

※Coffee Boiler 1 が DISABLED のときは、このメニューは表示されません。

コーヒーボイラーの設定を終了します。

各抽出グループごとに蒸らし時間を設定できます。

0s Wet : 蒸らし抽湯量...蒸らし時の湯量を抽出時間(秒)で設定できます。

0s Hold : 蒸らし待ち時間...蒸らし時の待ち時間(秒)を設定できます。

蒸らしの設定を終了します。

カップウォーマーの機能を有効/無効にできます。

ENABLED : 有効

DISABLED : 無効

ゲートウェイの設定

水センサーの設定

総硬度

プログラムを終了します。

※ T2ボタン、T3ボタンを同時に押しても、いつでもプログラムを終了できます。

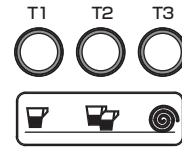
バリスタ・プログラムでは以下の設定ができます。

最左端の抽出装置の抽出ボタンがプログラムボタンになります。

各メニューでは T1(戻る)ボタン、T2(進む)ボタン、T3(決定)ボタン で操作します。

T2ボタン、T3ボタンを同時に押すと、いつでもプログラムを終了できます。

設定変更をすると、マシンの仕様が変更になり異常が出る場合がございます。設定変更は十分に注意をし、変更前の内容を忘れないよう記録してください。



テクニカル・プログラム

表示言語の設定

Language
ENGLISH

表示される言語を選択できます。

ENGLISH : 英語

DEUTSCHE : ドイツ語

ESPAÑOL : スペイン語

FRANÇAIS : フランス語

Русский : ロシア語

ITALIANO : イタリア語

温度表示の単位設定

Temp Units
CELSIUS

表示される温度の単位を選択できます。

CELSIUS : 摂氏(°C)

FAHRENHEIT : 華氏(°F)

表示文字の設定

Name
LaMarzocco

抽出モード時にディスプレイに表示される文字を入力できます。

使用可能文字: a~z, A~Z, (空白), 0~9 文字数:

10文字 初期設定: LaMarzocco

コーヒー抽出量の設定

Group Dose
Settings

Program
Volume Dose

各抽出ボタンのコーヒー抽出量を設定できます。

「コーヒー抽出量の設定」を参照ください。(→6ページ)

Run
Flowmeter Test

フローメーターのテスト流量計の確認ができます。

Group Dose
Exit

コーヒー抽出量の設定を終了します。

スケール設定

Scales
Configuration

Scales B# short
stop ##.#g early

※スケール付きモデルのみ、使用出来ます。

各抽出ボタンのコーヒー抽出量を設定できます。

変更する場合、T3で選択をしT1で減少、T2で増加できます。コーヒー抽出量の設定」を参照ください。

Scales Tare Time
#. #S

抽出ボタン押下後、計量リセットを行うまでの時間を設定 できます。

Start Scales
Testing

計量の校正ができます。

T3押下後“Empty G# Scale And Press Enter”表示時、計量部を空の状態 T3を押します。“Place 100g on G# And Press Enter”表示時 校正用100gを計量部に置き T3を押します。各グループ毎で操作を繰り返します。

Start Scales
Testing

計量のテストができます。

Scales Settings
Exit

スケールの設定を終了します

熱湯抽出量の設定

Water Dose
Settings

Water Dose
ENABLED

熱湯ボタンの抽出量設定を有効/無効にできます。

ENABLED : 有効...設定した量で自動的に止まります。 DISABLED : 無効...熱湯を止めるには再度 熱湯ボタンを押します。

Program
Water Dose

熱湯ボタンの抽出量を設定できます。

熱湯ボタンを押し湯を出し、設定したい量で再度 熱湯ボタンを押して止めます。このとき抽出された量が設定されます。「熱湯抽出量の設定」も参照ください。(→7ページ)

Water Dose
Exit

熱湯抽出量の設定を終了します。

コーヒーボイラーの設定

※通常はENABLEDから変更しないでください。

Coffee Boiler
Settings

Coffee Boiler 1
ENABLED

コーヒーボイラーの機能を有効/無効にできます。

ENABLED : 有効...コーヒーボイラーの機能を有効にします。

DISABLED : 無効...コーヒーボイラーの機能を無効にします。

CB1 Temperature
xx.x°C xx.x°C

コーヒーボイラーの制御温度を設定できます。

左の表示: 現在のコーヒーボイラー内湯温を表示

右の表示: 設定温度

CB1 Offset
x.x°C

コーヒーボイラー設定温度と抽出口湯温との温度補正値が設定できます。

⋮

CB Settings
Exit

設定範囲: -15.0~15.0 °C

※工場出荷時に設定されていますので、通常は変更しないでください。

コーヒーボイラーの設定を終了します。

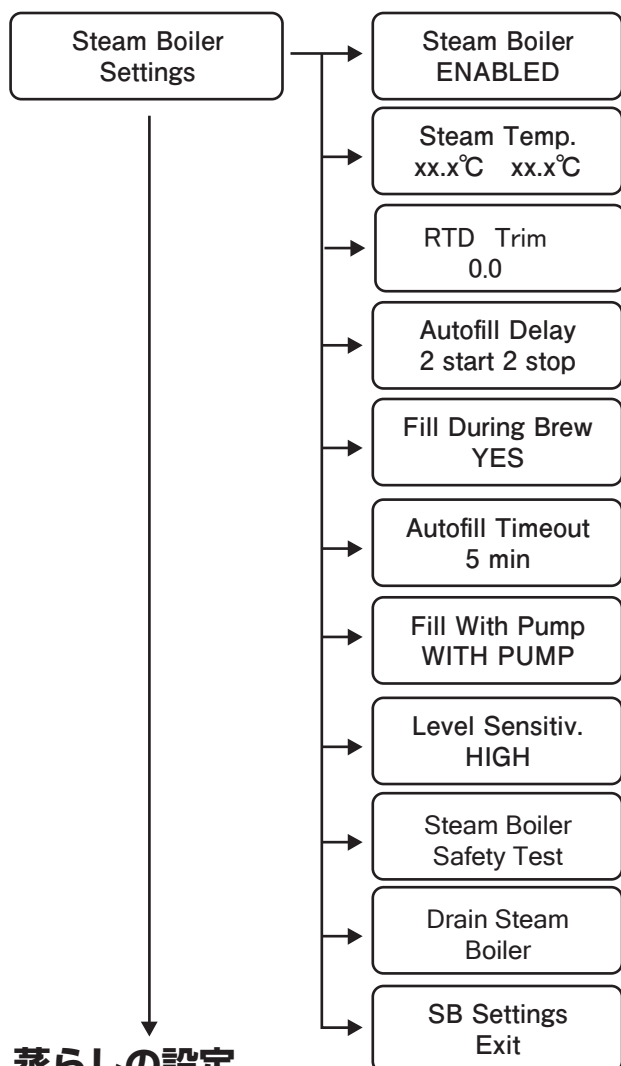
スチームボイラーの設定へ

プログラム (テクニカル・プログラム)

テクニカル・プログラム

スチームボイラーの設定

※通常はENABLEDから変更しないでください。



スチームボイラーの機能を有効/無効にできます。

ENABLED : 有効…スチームボイラーの機能を有効にします。
DISABLED : 無効…スチームボイラーの機能を無効にします。

スチームボイラーの制御温度を設定できます。

左の表示 : 現在のスチームボイラー内湯温を表示
右の表示 : 設定温度

温度センサーの制御補正値を設定できます。

※工場出荷時に設定されていますので、通常は変更しないでください。

ボイラーへの給水タイミングを設定できます。

X start : 給水が必要と検知してから、給水開始するまでの時間(秒) X
stop : 給水中から実際に給水終了するまでの時間(秒)
通常は2 start 2 stop から変更しないでください。

抽出中にボイラーへ給水するかどうかを設定できます。

YES : 抽出中にボイラーへ給水する
NO : 抽出中にはボイラーへ給水しない

スチームボイラーへの給水時間制限(分)を設定できます。

給水時にポンプの使用/未使用を設定できます。

WITH PUMP : ポンプを使用する
WITHOUT PUMP : ポンプを使用しない
通常は WITH PUMP から変更しないでください。

スチームボイラー水位の感知感度を設定できます。

HIGH : 高
LOW : 低
通常は HIGH から変更しないでください。

スチームボイラーの加熱テストをできます。

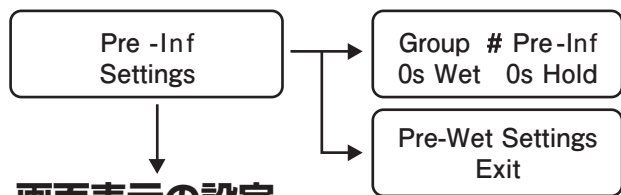
メンテナンス時に使用する項目です。

スチームボイラーの圧力を排出できます。

メンテナンス時に使用する項目です。

スチームボイラーの設定を終了します。

蒸らしの設定



各抽出グループごとに蒸らし時間を設定できます。

0s Wet : 蒸らし抽湯量…蒸らし時の湯量を抽出時間(秒)で設定できます。 0s Hold : 蒸らし待ち時間…蒸らし時の待ち時間(秒)を設定できます。

蒸らしの設定を終了します。

画面表示の設定



画面に表示される項目を設定できます。

抽出中に以下の項目を表示し、抽出モード時には時間/温度表示と以下の項目が交互に表示されます。

TIME: グループ別に抽出時間(秒)を表示します。

DOSE: グループ別に抽出時の流量計からのパルス数を表示します。

NO: グループ別の抽出情報は表示しない。

日付設定



日付を設定できます。

時刻/曜日の設定へ

テクニカル・プログラム

時刻/曜日の設定

Clock Time
13:36 WEDNESDAY

時刻と曜日を設定できます。

カップウォーマーの設定

※カップウォーマー付きモデルのみ、使用できます。

Cup Warmer
Settings

Cup Warmer
DISABLED

カップウォーマーの機能を有効/無効にできます。

ENABLED : 有効

DISABLED : 無効

Cup Warmer T On
x min

カップウォーマーがON状態の時間(分)を設定できます。

※このメニューは Cup Warmer が DISABLED のときは表示されません。

Cup Warmer T Off
x min

カップウォーマーがOFF状態の時間(分)を設定できます。

※このメニューは Cup Warmer が DISABLED のときは表示されません。

Cup Warmer
Exit

カップウォーマーの設定を終了します。

自動ON/OFFの設定

Auto On/Off
Settings

Auto On/Off
DISABLED

自動ON/OFFの機能を有効/無効にできます。

ENABLED : 有効

DISABLED : 無効

Auto On Time
00:00

自動ONの時刻を設定できます。

※このメニューは Auto On/Off が DISABLED のときは表示されません。

Auto Off Time
00:00

自動OFFの時刻を設定できます。

※このメニューは Auto On/Off が DISABLED のときは表示されません。

Closed On
NEVER

NEVER: 設定なし

MONDAY~SUNDAY: 月曜日~日曜日

※このメニューは Auto On/Off が DISABLED のときは表示されません。

Auto On/Off
Exit

Auto On/Off の設定を終了します。

エコモードの設定

Eco Mode
Settings

Eco Mode Temp
- 10.0℃

エコモード時の制御温度を設定できます。

ボイラー設定温度からの差で値を設定します。

設定範囲: -30.0~-5.0 ℃ (5℃刻み)

Auto Eco Time
60

通常の状態から自動でエコモードになるまでの時間(分)を設定できます。

0に設定すると、自動ではエコモードになりません。

設定範囲: 0~120 分

※T1ボタンとT2ボタンを同時に押すと、すぐにエコモードになります。

エコモードから通常の状態に戻すにはいずれかのボタンを押してください。

Eco Mode
Exit

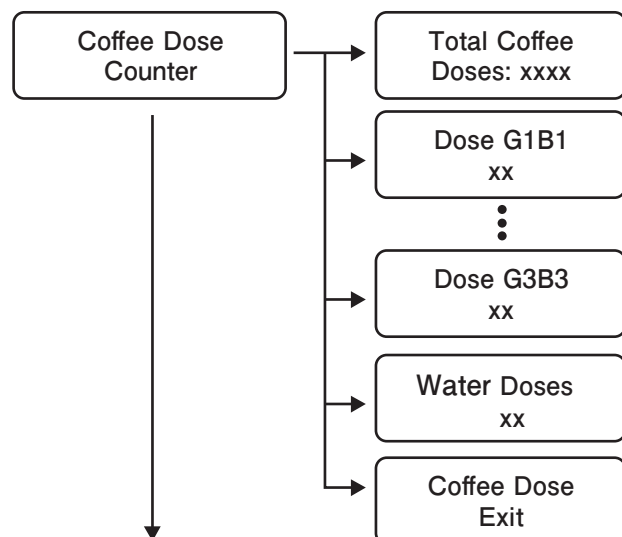
エコモードの設定を終了します。

抽出回数の表示へ

プログラム (テクニカル・プログラム)

テクニカル・プログラム

抽出回数の表示



コーヒー抽出回数を表示します。

この回数は各抽出グループ、各抽出ボタンの合計です。
(熱湯ボタンでの抽湯回数は含まれません)

グループ1ボタン1(G1B1)での抽出回数を表示します。

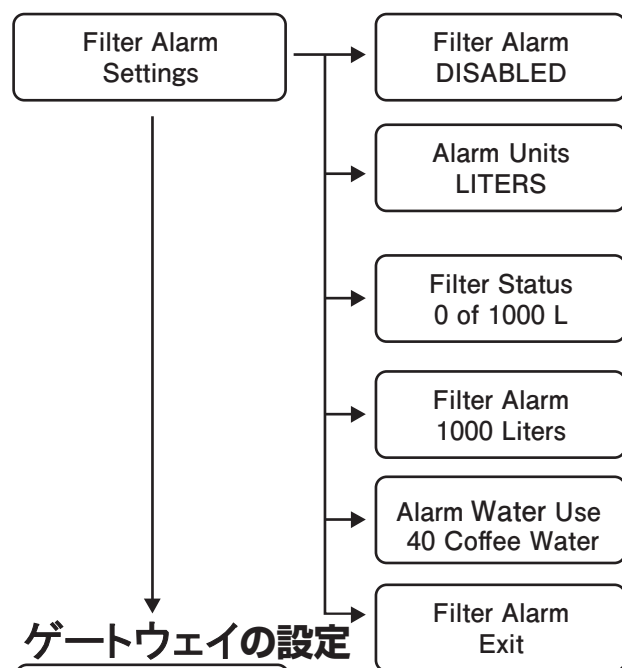
(全グループ、全ボタンの抽出回数が表示されます。)

グループ3ボタン3(G3B3)での抽出回数を表示します。

熱湯ボタンでの抽湯回数を表示します。

抽出回数の表示を終了します。

浄水フィルターの設定



浄水フィルターのメンテナンス時期お知らせ機能を有効/無効にできます。

DISABLED : 無効

ENABLED : 有効

メンテナンス時期の判断基準を設定できます。

LITERS: リットル

数 DAYS: 日数

※このメニューは Filter Alarm が DISABLED のときは表示されません。

現在の使用状況を表示します。

※このメニューは Filter Alarm が DISABLED のときは表示されません。

メンテナンスのお知らせをする時期を設定できます。

Alarm Units で LITERS を設定した場合はLiters(リットル数)で、
DAYS を設定した場合はDays(日数)で設定します。

設定範囲LITERS: 500~5000 (500刻み) DAYS: 90~360 (30刻み)

※このメニューは Filter Alarm が DISABLED のときは表示されません。

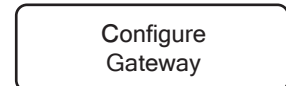
設定範囲: 0~100 (10刻み)

※このメニューは Filter Alarm が DISABLED のときは表示されません。

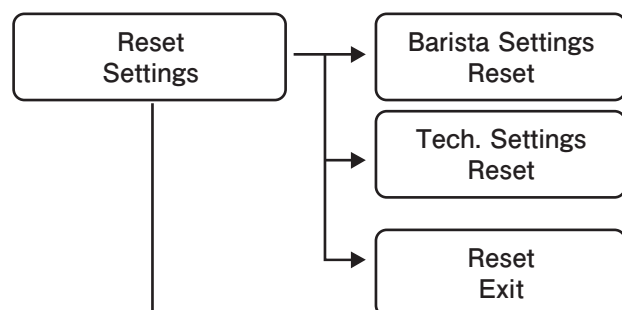
浄水フィルターの設定を終了します。

※ゲートウェイ付きモデルのみ、使用できます。

ゲートウェイの設定



設定初期化



バリスタ・プログラムの設定を初期化します。

テクニカル・プログラムの設定を初期化します。

初期化の設定を終了します。

水センサーの設定へ

テクニカル・プログラム

水センサーの設定

※水センサー付きモデルのみ、使用できます。

H2O Sensor - TDS
XXX.X ppm

総硬度

※水センサー付きモデルのみ、使用できます。

Total Hardness
XXX.X ppm

ファームウェア更新

ファームウェアの更新時に使用します。

Update Firmware

プログラム終了

プログラムを終了します。

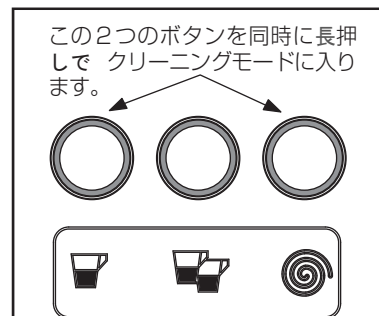
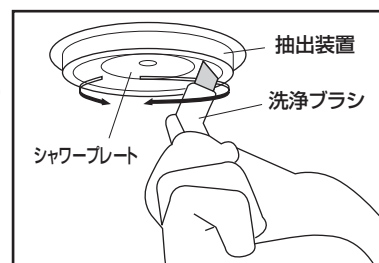
※T2ボタン、T3ボタンを同時に押しても、いつでもプログラムを終了できます。

Menu
Press B3 to Exit

注意：上記のプログラムは、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

抽出装置の清掃（毎日の清掃）

- 1 抽出装置より、フィルターホルダーを外してください。
- 2 コーヒーカスを捨ててください。
- 3 付属の洗浄ブラシを使用してシャワープレートの外側を洗ってください。
- 4 ブラインドフィルターをフィルターホルダーに取り付け、ティースプーン1杯（約8g）の洗剤を入れます。
- 5 フィルターホルダーを清掃したい抽出装置に取り付け、清掃したいグループの1杯用抽出ボタン（☐）と手動用抽出ボタン（◎）を同時に長押しします。
- 6 自動でクリーニングが開始されます。
- 7 フィルターホルダーを外し、5と同様にオートクリーニングを行いすすぎ洗いしてください。
- 8 再度、洗浄した抽出装置の抽出ボタンを押して熱湯を出し、シャワープレート部をきれいにすすぎ洗いしてください。
注意：洗剤成分が残らない様に、すすぎ洗いを必ず行ってください。
- 9 フィルターホルダー、フィルター、ブラインドフィルターをぬるま湯の入った容器などに入れて洗浄してください。

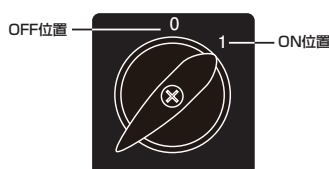


終業時手順

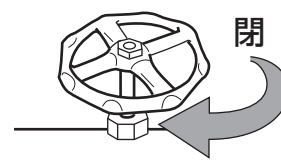
終業時の一連のクリーニングが終了したらメインスイッチを“0”（電源OFF）の位置にして、水道の元栓を締めてください。

- 1 左端グループの抽出ボタンのT2ボタン（☐）とT3ボタン（◎）を同時に3秒間長押し押します。ディスプレイにOFFと表示されます。

- 2 電源スイッチを 0（OFF位置）の位置に回します。



- 3 水道の元栓を閉めます。



製品保証書

型 式		機番	保証期間
お 客 様	お名前 様		お買上げ日より 1 年
	ご住所 〒		お買上げ日
	電話 () —		* 年 月 日
*販売店名			
住所			
電話 () —			

本書はお買上げ日から上記期間中に故障が生じた場合に、本書下記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。
ご販売店さまへ：*印欄は必ず記入してお渡してください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。無料修理をご依頼になる場合には、お買上げ店にお申し付けください。
- 保証期間内でも次の場合には有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による、故障及び損傷。
 - (ロ) お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷。
 - (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - (ト) 遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する費用。
- この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打切後5年です。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
 - ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。

ラッキーホームマシン 株式会社

本社 〒658-0023 神戸市東灘区深江浜町95番 TEL(078)451-8300 FAX(078)451-5777

事業所については
こちらをご覧ください

